



福祉人材センター × 介護福祉士会

# ふくし・かいご通信

2021  
11  
No. 2



北海道福祉人材センター  
HPリンク

発行:社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

今月は…

## 私のかいごストーリー

一般社団法人北海道介護福祉士会 理事 桑田 賢一 氏

(製鉄記念室蘭総合病院 居宅介護相談センター憩 主任介護支援専門員)



(福祉職経験 23年)

これから介護の世界に入ってくる方には、さまざまな立場や境遇の方が多くは必ずである。私は学生の頃から介護の仕事を目指していたわけではなく、高校生の頃は特にこれといった目標もなく進学校であったこともあり、理工系の短期大学に入学した。卒業後は地元に戻りたいとの思いがあり地元の企業でシステムエンジニアとして働いていた。毎日与えられた仕事をこなす毎日でやりがいなど感じることはなかった。そんな時友人が知的障害者のボランティア活動行っており、仕事の休日を利用して参加するようになった。ボランティアというより、一緒に楽しんでいる自分がありこれまで感じたことのない充実した時間を送ることができた。その頃は介護の仕事や資格のことはほとんど知識がなく調べてみると、「介護福祉士」という国家資格があり、介護のプロとしての職業が存在していることを知った。

それから専門学校が地元にあることがわかり、200万の授業料は仕事を続けながら貯め福祉の世界に心機一転飛び込んでいった。自分が「やりたいという仕事」が見つかった時の勉強や実習は本当に楽しく、これまでの学生生活の中で一番勉強した日々であったような気がする。

専門学校卒業後は介護福祉士として急性期病棟の看護助手、老人保健施設の介護職員として勤務し介護支援専門員の資格を取得し、この世界に飛び込んで23年目を迎える。





これまで介護の仕事をしていてうれしかった瞬間は、施設に入所してきた女性の利用者が家族に捨てられた絶望感があり元気がない日々を送っていたが、できるだけお話する時間を持つよう心掛け関わっていたある日、見たことのない笑顔で「ここに来た時は人生の終わりだと思っていた。あなたに出会えてそうじゃないことに気づくことができた。ありがとう」と声を掛けてくれた。自分も人のために役に立つことができた実感できた時です。

福祉の仕事は直接利用者さんと関わるため、生の声や気持ちを本人の口から直接聞くことができ、自分が行っていることが良いも悪いもダイレクトに感じることができ、「やりがい」に繋がっていく仕事である。

様々な人生を歩んできた人と関わる仕事なので、自分がこれでいいと思った支援をしても時には怒鳴られたり、担当変えてほしいと言われたりすることもありその度に落ち込むこともある。価値観の違いやこれまでの生活歴を地道に辿っていくことで、心を開いてくれる時もあり、忍耐力も必要な仕事でもある。

介護の仕事はこちらから支援するという一方通行なイメージを持つ方も多いと思うが、関わるみなさんが人生の先輩であり教えられることも多く、自分の生き方や子育てにプラスになることがある。共に歩み「何気ないしあわせ」を掴むことができる仕事であることは、これまでの経験から断言できるので、1人でも多くの方が介護の世界に勇気と希望をもって一歩踏み出してくれることを願っています。

今回は…

「介護の  
ワンポイント」

を予定しています。楽しみに！！



一般社団法人北海道介護福祉士会は、介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に寄与している団体です。

TEL&FAX  
011-222-5200



北海道介護福祉士会  
HPリンク